

路頭にまよふより

万治礦勞組と家族達

金策盡きて幹部歸山せず

昨年十一月頃より経営難に
おちいつて四苦八苦の状態
にあつた山田村地内万治
礦(責任者菅波恒二郎氏)では
同氏及び幹部の金策によつ
て再興を圖つたが思はず
ない爲従業員は持ち切れず
過日組合大を閉じて「企
業整備をせよ」との決議
を求めた所生産管理
部により復讐せよとの返
答もたらされたので従事
員百四十六名は社備の意
を容れ社側はその後積極
的に事を進めず以然とし
昨年十月以降の未拂賃金二
百万圓を支給せず更に菅
氏外幹部数名は金策と稱し
て上京したまゝ歸山せず
れが爲休山の已むなきに
つて目下保女係は数名が最
少限度の保安の維持に當
つて一方社系統の田
人村平地内田八炭礦(従
業員四十三名)でも去る四
日大を閉き企業再建に對
する労資交渉の結果現在の
難關を打破するため社が
わが獨立經營可能の曉まで
生産管理に入るべく協約
一、生産は組合責任のもと
獨立性を以て行う
二、生産された石炭は兩者
立會いのもとに賣却する
三、賣炭収入は兩者決議の
上分配する
四、賃金支拂に對しては收
入額の實績により組合で

盛會の消防縣大會

此報、縣下消防團長會は
二十二日午時十時から平市
公會堂で大竹知事、蓮沼警
署長、關内代議士、鈴木平
市長その他多數來賓臨席の
舉行
消防團員に對する慰勞後
縣協會長挨拶、表彰、功績
章、功勞章などの授與に
引續き指示、建講事項を
それら、審議して正午過
ぎ閉會した
向各團長は豫定の如く廿三
日は小名濱港を陸と海から
視察して大會の日程を終る

飯野囑託員

市役所で發令
平市では飯野野方の事務
囑託員を次の如く發令
塩濱英 (北白土)
江尻助三 (南白土)
村田川世 (谷川瀬)

内郷遺族の 平和祈願祭

内郷町遺族會では廿三日午
前九時から忠靈塔で靖國
英靈殉難英靈万圓英靈並に
世界平和祈願祭を執行する
勿來町制記念祝賀
勿來町では五月一日町制施
行二十五周年を記念して種
々の祝賀催しを行う

二ユース

○(東) 茨城水戸烈公遊いて
今年は百五十年、そこで
五月十二日から三日間
五月十二日から三日間
鎮田 愛讀者

五十年祭が常磐神社大祭
と共に行はれるがその十
四日には全国ヒゲ大會が
催される、これは烈公の
銀のようなアゴひげにな
ぞらつたものでわれと思
わんヒゲの持主は今月末
迄に水戸市元山町三區中
村八月さん宛申込まれ
いと

○(仙臺) 仙臺市東一番町
一二(文化樓町)古物商今
野將治さん(志)は妻きみ
こさん(志)長男正一君
(七ツ)長女義智子ちゃん
(二ツ)を連れ二十一日朝
青葉城跡でアドルムをの
み、家心中を圖つたが發
見されて手當中、一命が
取止める見込みで生活苦
からの遺書があつた

★十一字詰三十一
行以内で建設
的な意見の投
書を歓迎いた
します(係)

危険な吞物
親から金をせびり店屋か
ら買つて来るものは何か
と思つた少少なビンに
つた赤い黄色のシロップ
らしきのみ物です。先日
の専私の五才になる子供
が一本求めて来た赤い色
のビンを見ましたら水の
中にゴミのようなものがウ
ヨ／＼入つていたので
私は驚いてビンの中味を
捨てましたがおつた事
は子供の健康上誠によく
ない事と思ひます。警察
方面の嚴重な取締りを
願ひます。
鎮田 愛讀者

祝 磐城日報 展

株式会社丸ほん
平市本町三丁目

鈴木工業株式会社
平市月見町十六番地

磐城通運株式會社
平市南町三十三番地

平生生活協同利用組合
平市南町三十三番地

前驛市 壽百貨店
ゆく春に相應わしい
美しい御姿を
えがいて
衣裳...そして夏初めの御仕度
入念取を...
お待たして居ります
柄で...品質で 格價で御満
足を得度いと
努力致して居ります

江戸前
お好み料理と
すし
食道樂
江戸川
才越小路 電話一〇二二

パンも 技術の優劣
開花亭
平市五丁目
電話三四二

春伊達者の
安心して
御買物の出来る
洋服専門店 鈴藤
御利用下さい
電話八八六

自由御浴入
味ひおい
サツバリした
御氣分下
宴會、商談、祝儀、法事
お酒の持込其他如何にも
御相談に應じます
前文化映畫
西鳳
電話三五〇番
割烹 廣泉

丸山冷凍平營業所
新アイスクャンデー機械特賣中
キンシキック冷凍機東北總代理店
平市仲町八番地
本店 福島市瀬上本町
電話額上二二・三三・四七
回冷凍關係ノ御相談ニ應ジマス